

視聴覚教育

NO. 481

発行日

R5. 6. 1

編集・発行

岡崎市 A V

L

編集協力

現職研修委員

これ知ってる!?

「ChatGPT」

OpenAI 社が開発した、人工知能を使ったサービス。質問に対して人間のよう自然に答えられる技術が使われており、文章の作成や添削、プログラミングなども行える。しかし、情報の正確性に課題がある。

視聴覚教育あれこれ!! 令和五年度 学習情報部方針 研究主題

デジタル・シティゼンシップを高め、Society 5.0 を伸びやかに生きる子供の育成
学校DXの推進による、「岡崎版GIGAスクール構想」の実現を通して

研究の重点

- ① 各教科・領域の授業で横断的に進めるデジタル・シティゼンシップの育成
 - ・ ICTの効果的な活用による、情報活用能力の育成に関する研究
 - ・ ICTの効果的な活用による、各教科・領域の学びを深める研究
- ② 教師のICT活用指導力の向上と、効率的な校務の実現
 - ・ 教師のICT活用指導力の向上と、ICT活用による効率的な校務の実現

各部会の主な活動

〔広報部会〕

- ・ 月報「視聴覚教育」など視聴覚ライブラリー発行物の編集協力
- ・ 教育に関わるICTの各種マニュアルの検証や情報モラルの啓発
- ・ 各種調査の実施と調査結果や分析の広報

〔授業研究部会〕

- ・ 一人一台タブレット端末の活用による「誰一人取り残さない教育」の実現に向けた実践と報告
- ・ 情報モラル指導や情報活用能力育成推進のための研究

・ 視聴覚ライブラリーの教材・機材の効果的な活用方法の研究

〔研修部会〕

- ・ 教師のICT活用指導力向上に向けた研修の計画・実施
- ・ 教育活動や校務における有効なICT利活用方法の研究と提案

AIと人間らしさ

福岡中学校 校長 森 竜師

「一目置く」は、囲碁を由来とした言葉である。自分よりも強い相手と対局を始める前に、相手の優位を受け入れ、ハンディキャップとして先に自分の碁石（黒石）を一つ置くこと。転じて「自分より優れた相手を認め、敬意を払い一歩譲る」という意味で使われる。

私が父から囲碁を教わったのは中学生の時である。始めに星目（九つの黒石）を置いても勝てなかった父に、一目（一つの黒石）だけ置いて勝負できるようにするまでには十年かかった。「囲碁の一局は、その人の生き様を表すものだ」と、囲碁を通して私に「人としての在り方」を説いた父。その父が亡くなった今、私の相手は、もっぱらAI囲碁（人工知能）である。

さて、チェス・将棋・囲碁など、あらゆるパターンを解析して正解を導き出すことはAIの得意とするところであり、この分野では、すでにAIが人間の脳を上回っている。また、今まで人間にしかできないと考えられてきた高度なタスクも、AIによって実現可能であることが次々と明らかになっている。特に、ここ数年は、

文章や画像を生成するAI技術が飛躍的に進化した。ChatGPTに代表される「大規模言語モデル」が世間を騒がせている。知識基盤社会では、日々新たな知識が次々に生成され、同時に陳腐化している。そうした多種多様で不安定な知識はビッグデータとして蓄積され、それを用いてChatGPTは、今も自ら学習し続けている。

あたかも、人が言語を扱っているかのように振る舞い応答するChatGPT。その実効性と有益性から高い将来性が見込まれている反面、人の役割をどこまで奪うのかが懸念されている。あらためて、「人ならではの仕事」そして「人間らしさ」が問われている。

ChatGPTが吐き出す情報は、私にとっては据わりが悪い。私自身の思い（実体験や感動）が込められていないからだ。今、教育は大きな変革の時にある。ICTを「学びの道具」として効率よく効果的に活用することと併せて、今後は、これまで私たちが大切にしてきた「リアルな実体験や感動の場」が一層大切になるだろう。

父が亡くなるまで、父との対局は、盤面に置いた一目を外すことはなかった。「一目置く」という行為に込めた、私の父に対する思いは、AI囲碁には到底理解できないに違いない。

令和五年度 学習情報部組織Ⅱ

部長

森 竜師 (福岡中)
岡 秀之 (羽根小)
塚谷 保 (藤川小)

教育委員会担当

村田 貴志 (岡崎市教育委員会)

視聴覚ライブラリー

杉坂 和俊 (所長補佐)

指導員

太田 尚志 (藤川小) 鈴木 広樹 (矢東小)

世話係

服部 将也 (豊富小) 岩川 皓司 (竜南中)

各都会世話係

〔広報部会〕

岩川 皓司 (竜南中) 鈴木奈穂子 (新香山中)
矢部 貴司 (竜海中) 鈴木 由理 (小豆坂小)
青山将太郎 (岩津中)

〔授業研究部会〕

水野 利明 (矢作中) 鈴木 俊宏 (男川小)

〔研修部会〕

服部 将也 (豊富小) 青山 夕菜 (羽根小)
米澤 和志 (大門小) 杉山 康子 (常磐小)
星野 雄大 (南 中) 山本 悠司 (矢北小)
酒井 雄一 (甲山中)

各種大会 研究会の案内

〈研究会〉

- ・おかざきッズ プログラミング・フェスタ2023
- ・7月25日(火) 総合学習センター
- ・三教研ICT活用研究会
- ・8月4日(金)
- ・県放送教育特別研究会
- ・8月24日(木) ウィンクあいち

〈研修会〉

・授業力・教師力アップセミナー

【基礎編】7月21日(金)

【専門編】・【推進編】7月28日(金)

〈研究論文〉

- ・ちゅうでん教育振興助成(6月13日(火) 締切)
- ・パナソニック教育財団実践研究助成 (例年1月中旬締切)

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

〈コンクール〉

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・ICT夢コンテスト など

〈児童・生徒のコンクール〉

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・アジア国際子ども映画祭
- ・キューブ活用コンテスト
- ・パナソニックKWN日本コンテスト など

ライブラリーだよ

所長

田中 典子

所長補佐

杉坂 和俊

職員

鳥居 貴浩 稲垣 俊雄
山本 やよい 白木 千春



連絡先 岡崎市
視聴覚ライブラリー
23-6789

視聴覚ライブラリーは所長、所長補佐が交代しました。新メンバーで今年度も皆様のお役に立てるよう頑張っていきます。

令和5年度初回号では視聴覚ライブラリーからの視聴覚・情報教育に関する主な支援内容を紹介します。

●情報モラル出前講座

視聴覚ライブラリーでは児童生徒、保護者を対象に「情報モラル出前講座」を随時行っています。内容はネットトラブルに関する情報提供や注意喚起などです。開催希望する時は右記載の連絡先にお問い合わせください。

●配信・Web会議支援

教職員の業務改善や働き方改革の一環としてTeams配信などが行われるようになりました。そうした場面が必要となる各機器接続のケーブルやビデオカメラの貸出を行っています。

●教材の貸出

視聴覚ライブラリーは貸出用教材(デジタルコンテンツ含む)を保有しています。検索は、各校にある教材目録か視聴覚ライブラリーHPを御利用ください。巡回郵便での貸出・返却が可能です。